

中高生と大学生と一緒に、社会での実践的学びに挑んでいます

うわじま∞あいだいプロジェクト

■概要

市内の中高生と愛媛大学生が、フィールドワークやグループワークなどで交流しながら、地域と関わり実践的に学ぶことを通して、自分自身や地域の可能性を拓けるプロジェクト。

▶地域づくりの実践に関わります

吉田町喜佐方地区をフィールドに、地域の人との交流やヒアリング調査、ワークショップなどを行い、地域の将来像についてみんな考えます。

▶将来を考えるきっかけをつかめます

世代を越えて一緒に学び交流することで、自分の少し先の未来を描く機会になります。

📅 7月～令和6年1月ごろまでの土日(全5回)

📍 中央公民館、吉田町喜佐方地区、愛媛大学

👤 30人程度(中学生、高校生、大学生各10人)

📍 青少年市民協働センター(ホリバタ)

☎ 49-7112

✉ u-chuuo-ph@city.uwajima.lg.jp



世界を 拓げる

Horibata



平時からの備え



日々是 宇和島
(65)



あの痛ましい平成30年7月豪雨から丸5年が経過しようとしています。災害を通じて痛感したのは、平時からの備え、周辺とのつながりをいかにして確立するかという課題です。

その中の象徴的な事例として挙げられるのがトイレの確保であり、災害時に少しでも衛生的な環境を提供しようと、約2年前に車椅子での使用も可能な多機能型を含めた自走式トイレカーを3台整備しました。しかし、これでは十分な整備とは言えません。そこで、トイレカーを所有しながらも同じ課題に直面する周辺自治体とのネットワークを構築すべく、3月に兵庫県南あわじ市、長崎県島原市との3市で「自治体トイレカー災害時相互派遣に関する協定」を締結しました。

さらに先月、更なるネット

トワーク拡大のため、本市のトイレカーを東京まで走らせ、総務省に対し全国自治体のトイレカー整備への財政支援やネットワーク構築のための後押しを要望し、実車を視察してもらいました。加えて同時期に開催された全国市長会でも志を同じくする市長に見学してもらい、さまざまな質問に対して丁寧に対応しました。まだまだ始まったばかりの試みですが、何とか形にしていきたいと思えます。



▲東京でのトイレカー見学会